



佐賀 久本代議員

組織対策について この一年、コロナ禍で運動が出来ていなかった。また組合も退職などにより減少し対応が困難であった。合理化問題では6両ワンマンが導入され車掌が全廃となり3名が博多車掌区に転勤となった。6両ワンマンの折り返し時間が5分と短い行路が5本あり、女性やトイレの近い人は大変な作業となっている。組織について 地区本部の人数も減ってきた為、財政的にも困窮している。何年も前から言ってきたように、地区本部の再編をお願いしたい。



北九 糸山代議員

安全問題について 小倉運転区の3両ワンマンでモニター故障が発生し一日中運用していたため、指令の運用を含めて安全に係る問題なので団体交渉を行ってもらった。その後にもまた同じ事象が発生したが、その時は素早い対応であった。団交の成果だと思ふ。小倉駅の運転室の使用

禁止について職場で問題となっている。経費削減のためであるが、運転士、車掌は乗り継ぎ時や異常時など使用されないと困る。運転室を利用できるように運動を強化したい。また工務職場では若い人が離職をしている。車掌5年未満の者の転職を進めている。工務関係の賃金・手当や待遇改善が求められている。門司港駅構内の入換業務が十月から小倉が受け持つことになった。作業指示等が異常時にできるのか疑問だ。様々な問題について、多くの社員から意見を聞き運動を強化したい。



博多 岩田代議員

香椎線でデンチャの自動運転が行われている。近い将来係員による運転となるが、前方注視義務や、非常ブレーキを取るなど係員では課題・問題が多いのではないかと。筑肥線では、6両ワンマンが導入されたが、ドアSWが離れて遠い位置にあるため扱いにくい。また各駅で停目前後七〇cmの範囲で止めないとドアが開かない。停目から外れると通過扱いとなる。運転士の意見を聞いて導入すべきだ。経費削減のため、草や木などの伐採が遅れている。雨が降れば車両に当たっている。



長崎 上之濱代議員

第四九回原爆慰霊式を今年も規模を縮小して無事終えてきた。現在の場所では最後となり、来年から新たな場所に移転し引き続き頑張りたい。長崎線のYCI導入により全ての列車がワンマンとなる。また来年新幹線長崎ルートの一部分開業で車掌職場が廃止となる。支社交渉で問題を詰めていきたい。ほとんどの駅で駅員がいない。券売機もない駅もある。運賃遁脱をどのようにしていくのか。会社はポスターでキセルは犯罪と出しているが、これで防げるとは思わない。マナー悪化は避けられないのではないかと。ワンマンにより車内秩序の低下、災害時の対応など様々な問題点を九州本部と連携して取り組みたい。



鹿児島 丸山代議員

コロナ禍で中々運動が出来ていないが交渉の経過など報告していききたい。六月に運転関係、七月に労働条件の交渉を行った。再教育の期間の

問題やデバイスの扱いによって指導の負担が増大するので撤回を求めた。具体的な対策を求めたが、納得のいく回答ではなかったため締結はしていない。伐採等については計画通りに行うと回答。またテレビの設置を乗務員の観点から申し入れし、経費節減での撤去はおかしいと追及してきた。この問題については引き続き九州本部でも取り扱うようお願いしたい。



博多 井上代議員

豪雨災害の対応について 命を守る行動と報道が出されていたのに、何故運転継続したのか、過去の経験が活かされていない。交渉が必要である。また災害時にはテレビからの情報が一番だ。全てとは言わないが、主要駅にはテレビを設置して欲しい。コロナ対策について 訓練では人数制限がもとに戻ってきたので区長にもう申し入れをおこなった。熊本地区や安全創造館でクラスターが発生している。法的に決まっている試験や緊急な場以外は行事の延期をお願いしたい。組織拡大について 若い世代への継承のため拡大は絶対必要だ。最近若い車掌と心配事など色々な話をした。こちらから訴えていけば答えてくれる。拡大に全力をあげていきたい。